

### 生協法改定案の単一化に一致

韓国では1998年消費者生活協同組合法（以下、生協法）の制定、1999年施行以来生協法の改定は課題であります。現状約150の生協が活動していますが、生協法に基づいて認可を得た生協はその半分にもなりません。韓国の生協法は新環境農産物の流通の仕組みを作るため制定された側面が多く、事業の範囲は主に「農畜水産物とその加工品、及び環境にやさしい生活用品などの供給」に制限されているなど、規制が多いのが現実です。

昨年6月、生協全国連合会から生協法改正案が出されました。その改正案の主な内容は、「連合会・全国連合会の根拠を明記、法律に基づいて認可を得ていない団体の類似名称の使用禁止、事業範囲を医療及び生活全般に渡る事業までにする」など。生協全国連合会に属していない他の生協（全国的に事業と運動を展開している韓国生協連合会と韓国生協連帯、女性民友会生協、ハンサルリム）からは、この改正案に対する合意はなかったものの、11月にはもう一つの生協法改正案が韓国生協連合会と韓国女性民友会生協から出されました。一番大きな異見は、生協全国連合会の改正案にある「全国連合会は、30以上の組合、又は連合会が発起人になって設立し、財政経済部長官（大臣）の認可を得ることとする。財政経済部長官は特別な理由がなければ二つ以上の全国連合会を認可しないことができる」という条項だったのです。

ところで、二つの法案が上程されると改正時期は遠くなって、廃棄になる可能性もあるため、韓国の生協4団体（全国連合会、女性民友会生協、韓国生協連合会、（社）ハンサルリム）は今年1月から生協法改正に関して話し合いを始めました。4回の話し合いの末、異見を解消し、単一の法案を作ることに合意、新しい生協法改正案を作ることに至りました。最後まで異見のあった全国連合会の条項に関しては「準則主義で一定の要件が整えれば設立できるように」という内容となりました。新しい改正案は初案作成中であり、今年6月の臨時国会に上程する予定です。韓国の生協4団体は、今後も共同の取り組みを通じて互いの信頼を高める努力をすることを確認しました。

### 生協研究所設立と「第1期生協アカデミー」の開講

「韓国生協連合会・（社）韓国生協連帯付設韓国生協研究所（以下、韓国生協研究所）が5月末、設立されます。昨年2月、韓国生協連合会総代会で研究所設立の議案が採択されて1年間準備を進めてきました。研究所は調査、教育、研究、出版、その他を活動内容とし、最初の事業として4月11日から「第1期生協アカデミー」をスタートさせました。生協アカデミーは韓国生協連合会・（社）韓国生協連帯のリーダー25名（各会員組合で抽選、経費全てを研究所が持つ、欠席の場合は、自費で教育費を返金するとのルール）と職員4名、計29名。

今まで韓国生協連合会が行ってきた初級活動家教育、中堅活動家教育、リーダー教育とは違って韓国の社会と世界経済の変化、海外の生協運動、わが国の生協運動の課題、組織の課題とリーダーとしての力量強化を主な内容とする、ちょっとアカデミックな講座です。下期には「第2期生協アカデミー」を開講する予定です。講座の様子は、動映像で編集され、イントラネットの中

で誰もが見られるようになっていきます。

所 長：金周淑（Kim JooSuk 元韓神大 学校社会学科教授、元韓国農村社会学科会長）  
事務局長：Jeong WonGak（元韓国生協連合会監査、普州生協理事）  
事務局幹事：Lee HangSuk、  
連絡先： : +82-2-2060-1373、1374 Fax : +82-2-2060-6260

詳しくは 。

<http://www.icoop.or.kr/v2/announce/view.php?code=announce&homepage=003&page=1&number=526&keyfield=&key=&no=129&fid=133&thread=A>

### 輸入米の入港、アメリカのカルロス米の入札に反対するキャンペーン

昨年、WTO 農業協商で韓国の米の義務輸入量は増えて、今年 3 月 23 日は、アメリカのカルロス米を積んだ船が釜山港に入港しました。4 月 5 日は、市販される輸入米の入札がありました。この日入札された米は、韓国で市販される初の輸入米となります。韓国の 10 の市民団体、労働組合、生協の会員、100 名はソウル明洞で大手流通業者の輸入米の公開入札に反対するキャンペーンを行いました。今後 5 ヶ月間、毎週 2 週目の水曜日にキャンペーンを行うことにしています。同時に、ウリサル（わが米という意味）とわが農業を守るための社会協約の運動を進め、社員食堂、学校給食などの集団給食にわが国の親環境農産物を使う取り組みを拡げようとしています。

（参加団体：全国公務員労働組合、全国教職員労働組合、韓国 YMCA 全国連盟、環境正義市民連帯、学校給食ネットワーク、生協全国連合会、ハンサルリム、韓国女性民友会生協、韓国生協連合会、親環境農業団体連合会）

詳しくは 。

<http://www.icoop.or.kr/v2/announce/view.php?code=announce&homepage=003&page=1&number=507&keyfield=&key=&no=128&fid=132&thread=A>

### 「ミミズ学校」に行ってきました！

全羅南道順天市は、順天湾とその周辺がランサール条約に登録されていることもあり、環境への取り組みが活発な地域です。順天市の生協組合員と市民たちは、ミミズを活かしたベランダ庭園作りを提案し、普及しています。食育と同時に、ミミズの力で家庭の生ゴミを分解して、生ゴミを土に戻すことを目指します。その様子をご覧ください。全羅南道長興の廃校を利用した「ミミズ学校」でミミズを分けてもらい、子どもたちとマンションで野菜を育てる様子が見られます。詳しくは 。

<http://www.icoop.or.kr/v2/board/view.php?code=board2&page=1&number=18549&keyfield=&key=&no=16713&fid=9000&thread=A>

<http://www.icoop.or.kr/v2/board/view.php?code=board2&page=1&number=18552&keyfield=&key=&no=16715&fid=9002&thread=A>

以上は、@www.icoop.or.kr から

## **Earth Day! イベントに「地球を守るウリサル」**

韓国女性民友会生協は4月22日 ソウルの大学路で行われる「Earth Day! イベント」にブースを出品します。今年のテーマは「地球温暖化ログアウト」。毎年このイベントには環境関連の取り組みが多く紹介されますが、今年はウリサルの消費拡大が温暖化防止に繋がるというテーマで出品とキャンペーンを行います。詳しくは 。

[http://www.minwoocoop.or.kr/bbs/board.php?bo\\_table=notice&wr\\_id=47](http://www.minwoocoop.or.kr/bbs/board.php?bo_table=notice&wr_id=47)

## **アメリカ牛肉の輸入再開に反対する集会を開く**

3月20日、韓国女性民友会生協は、他の市民団体と共に、アメリカ牛肉の輸入再開に反対する集会を開きました。

## **「第1回生協アカデミー」を実施**

韓国女性民友会生協は、3月13日～4月6日まで第1回生協アカデミーを開きました。講座には支部役員33名が参加し、生協のリーダーシップの研修を受けました。内容は、リーダーシップ、協同組合、組織管理、生活財の理解、生協の経営など。又、2005年からは毎月、1回の月例フォーラムを開き、「韓国社会と生協」という視点から生協のビジョンを探る機会を設けています。今年は、市民資本（social capital）、ワークズコレクティブ、高齢化社会を主なテーマにして、様々な取り組みについて講義や討論会を開催します。4月20日は、「高齢化社会とあなたの第2人生」をテーマにした講演会が開かれます。

以上は、@www.minwoocoop.or.kr から

## **生協全国連合会、新任役員教育**

3月30日、全国の会員生協の新任役員教育が開催されました。15組合、46名の役員が参加し、「リーダーシップとコミュニケーション」をテーマにして、生協への理解、理事の役割、リーダーとしての自分探しなどの研修を受けました。詳しくは、

<http://www.co-op.or.kr/data/coopnews2.htm?wh=coop&sno=78>

## **生協全国連合会の張コン会長、「新環境農業団体連合会」の副会長に選出され**

生協全国連合会の張コン会長は、2月23日の新環境農業団体連合会の総会にて副会長に選出されました。同団体は、環境農業に携わる生産者グループ（正農会、ハンサルリム、フックサルリムなど）、消費者グループ（生協）が環境農業の育成と普及のため、1994年設立したものです。張会長は、同団体の消費流通委員会の委員長も兼任し、親環境農産物の消費拡大のために活動することになります。詳しくは 。

<http://www.co-op.or.kr/data/coopnews2.htm?wh=coop&sno=76>

以上は、@www.co-op.or.kr から

## **ハンサルリム、「ウリ生命守り基金」に会員1,735名 参加**

ハンサルリムは去年10月～3月まで、「ウリ生命守り基金」へのカンパを全国の会員に呼びか

けました。その結果、1,735名の会員から1億5千万余ウォンの基金が集まりました。この基金の半分は国内の欠食児童へ、半分は北朝鮮の子どもたちのために使われます。

### ハンサルリム、壇国大学校 (DoonKuk University) と産学協力協定を締結

3月29日、ハンサルリムは壇国大学校と地域農業振興のための産学協力協定を締結しました。壇国大学校は忠清南道天安市に大学キャンパスがあり、2000年からその隣のハンサルリム牙山市（アサン市）生産者連合会の地域農業振興の取り組みに協力してきました。ハンサルリムと壇国大学校は、牙山市の新環境地域農業振興を目標に、新環境地域農業政策開発と共同研究、生態地域社会構築のための相互協力、新環境農業育成と消費拡大、新環境加工食品の開発を目指すことにしました。詳しくは、<http://www.hansalim.or.kr/>

以上は、@www.hansalim.or.kr から

#### 【編集後記】

4月13日、韓国では地域財団主催のシンポジウムがありました。今回のテーマは「都市と農村の相生」。そこで、日本にも紹介されている「1社1村」運動の事例として江原道原州市の尚志大学校と蔚山市の現代自動車の事例が言及されました。尚志大学校の総長は金大中政権で農林部長官として親環境農業法を制定したあの金成勲教授、金総長は学校予算中6千万ウォンを校内食堂の地元親環境食材購入用に配分し、さらに今年3月からは、教職員、助教の校内夕食を無料化するために4千万ウォンを新たに策定したそうです。現代自動車は、48ヶ所の構内食堂、4万人の食事を地元産食材に切り替えることを決め、食材料購入費の90%（250億ウォンのうち、225億ウォン）を地元の食材料購入に使っています。済州道では、道内の全ての学校（63校、32,142名）で親環境学校給食を実施することになりました。農業と生活者を取り巻く情勢は厳しさを増すように見えますが、パッと振り向いてみれば、この2、3年間、過去には無かった事例ができたなと感じます。

（文責及びお問い合わせ：韓国生協連合会 国際チーム、金亨美、[chleekim@yahoo.co.kr](mailto:chleekim@yahoo.co.kr)）